

公 示

公示第56号

準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の
判断結果について

平成26年1月27日付け公示「準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化の推進のために監督上必要となる措置等の実施について」に基づき、一般乗用旅客自動車運送事業の需給状況の判断結果を下記のとおり定めたので公示する。

なお、需給状況の判断結果の算定基礎数値は、別紙のとおりである。

令和5年8月31日

北陸信越運輸局長 佐橋 真人

記

令和5年度における需給状況の判断結果

都道府県	営業区域名 (交通圏)	必要車両数 (両)	令和4年度末 車両数 (両)	増加可能車両数 (両)
新潟県	新潟交通圏	331	983	▲652
	長岡交通圏	114	277	▲163
	上越交通圏	67	151	▲84
	柏崎市A	24	56	▲32
	新発田市A	25	57	▲32
長野県	長野交通圏	155	601	▲446
	松本交通圏	108	382	▲274
	上田市A	22	82	▲60
	飯田市A	50	151	▲101
富山県	富山交通圏	82	319	▲237
	高岡・氷見交通圏	57	178	▲121
	砺波市B、南砺市	17	37	▲20
石川県	金沢交通圏	437	1,250	▲813
	南加賀交通圏	66	241	▲175

※上記「令和4年度末車両数」は、特定地域及び準特定地域における一般乗用旅客自動車運送事業の適正化及び活性化に関する特別措置法第2条第9項に定める事業用自動車（個人タクシーを除く。）の数である。

附 則

本公示は、令和5年度の準特定地域における法人タクシー（一般乗用旅客自動車運送事業（1人1車制個人タクシーを除く。））の新規許可申請、条件解除の承認申請、営業区域の設定に係る事業計画変更認可申請、増車に係る事業計画変更認可申請、休車の解除に係る事業計画変更認可申請及び個人タクシーの新規許可申請について適用する。

(別紙)

1. 新潟県

(1)新潟交通圏

1. 輸送需要量の算定(過去5年間による総実車キロを基に最小二乗法により算定。以下、同じ。)

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
16,420,467	15,056,592	8,716,213	9,244,749	10,752,014	6,893,382

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
331	6,893,382	30,790,355	0.42	202,204	365	0.90

(2)長岡交通圏

1. 輸送需要量の算定

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
4,744,745	4,552,689	2,534,914	2,555,823	3,152,101	1,953,408

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
114	1,953,408	8,084,992	0.45	70,225	365	0.90

(3)上越交通圏

1. 輸送需要量の算定

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
2,853,896	2,622,579	1,581,651	1,675,762	1,883,741	1,257,388

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
67	1,257,388	5,014,051	0.48	41,908	365	0.90

(4) 柏崎市A

1. 輸送需要量の算定

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
1,279,525	1,166,974	756,497	679,994	794,694	498,544

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
24	498,544	2,032,830	0.48	15,717	365	0.90

(5) 新発田市A

1. 輸送需要量の算定

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
930,429	892,382	573,431	566,183	641,246	449,365

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
25	449,365	1,824,600	0.45	15,480	365	0.90

※「実車率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

2. 長野県

(1) 長野交通圏

1. 輸送需要量の算定(過去5年間による総実車キロを基に最小二乗法により算定。以下、同じ。)

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
7,318,274	6,631,645	3,148,850	3,417,939	4,151,154	2,069,189

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
155	2,069,189	12,400,259	0.45	138,647	365	0.90

(2) 松本交通圏

1. 輸送需要量の算定

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
5,967,148	5,477,416	2,628,413	2,808,195	3,437,349	1,745,059

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
108	1,745,059	9,804,831	0.45	90,728	365	0.90

(3) 上田市A

1. 輸送需要量の算定

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
1,347,815	1,247,996	574,801	657,336	806,955	425,267

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
22	425,267	2,114,774	0.48	17,657	365	0.90

(4) 飯田市A

1. 輸送需要量の算定

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
1,967,077	1,792,939	1,000,374	1,068,364	1,254,054	771,375

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
50	771,375	3,486,840	0.43	31,890	365	0.90

※「実車率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

3. 富山県

(1) 富山交通圏

1. 輸送需要量の算定(過去5年間による総実車キロを基に最小二乗法により算定。以下、同じ。)

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
5,900,686	5,036,170	2,623,233	2,678,998	3,228,468	1,583,029

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
82	1,583,029	8,976,837	0.49	75,717	365	0.90

(2) 高岡・氷見交通圏

1. 輸送需要量の算定

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
2,638,572	2,386,599	1,300,072	1,332,898	1,616,519	925,590

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
57	925,590	4,255,957	0.47	41,425	365	0.90

(3) 砺波市B、南砺市

1. 輸送需要量の算定

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
330,887	318,184	191,610	198,908	252,793	175,837

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
17	175,837	617,283	0.46	9,397	365	0.90

※「実車率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。

4. 石川県

(1) 金沢交通圏

1. 輸送需要量の算定(過去5年間による総実車キロを基に最小二乗法により算定。以下、同じ。)

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
17,789,320	16,442,919	8,697,663	8,940,783	12,187,953	7,200,267

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
437	7,200,267	31,470,014	0.39	247,247	365	0.90

(2) 南加賀交通圏

1. 輸送需要量の算定

平成30年度 総実車キロ	令和元年度 総実車キロ	令和2年度 総実車キロ	令和3年度 総実車キロ	令和4年度 総実車キロ	輸送需要量
3,167,279	2,810,070	1,559,023	1,710,960	2,107,851	1,305,647

2. 必要車両数の算定

必要車両数 $A \div (B \times C \div D) \div E \div F$	輸送需要量 A	総走行キロ (前5年間平均) B	平成13年度 実車率 C	延べ実働車両数 (前5年間平均) D	E	実働率 F
66	1,305,647	6,008,949	0.43	42,993	365	0.90

※「実車率」の数値は、小数点第3位で四捨五入して記載しているため、必ずしも計算結果は一致しないことがある。